

環境会計

環境保全に関係した投資・費用を定量的に把握し評価するために、環境省の「環境会計ガイドライン 2018 年版」を参考に 2018 年度の環境会計データを集計しました。

2018 年度は、8t 炉導入、下水管修理などのコストが大きな割合を占めました。

(単位：百万円)

分 類		取り組み内容	投資額	費用額
事業エリア内 コスト	公害防止コスト	下水管修理、集塵機の点検・修理、試運転 A 棟潤滑油配管更新工事、A 重油配管更新、局所排気装置定期点検吸い込みフィルター交換塗装ブース年次点検など	—	45.8
	地球環境保全コスト	8t 炉導入、2t 炉冷却ポンプインバータ化、電力見える化 (7 期)、電気炉のメンテ・修理、電力見える化 (8t 炉デマンド表示器設置)、LED 照明、試運転 1 次・2 次水ポンプ更新、試運転工場トランス更新など	466.2	6.2
	資源循環コスト	廃棄物定期処理など	—	49.4
上・下流 コスト	グリーン購入に伴い発生した通常の購入との差額コスト	通箱製作など	0.7	—
管理活動 コスト	環境情報取得、環境負荷監視及び事業所内美化	EMS 認証取得、サーベランス、騒音、水質等環境測定など	—	32.9
研究開発 コスト	環境保全製品の研究開発及び製造段階における環境負荷抑制	船用ディーゼルエンジン排ガス規制対応研究など	—	2,028
合 計			466.9	2,162.4

環境保全対策による経済効果		売却量 (t)	売却額 (百万円)
有価物等の売却額①	鉄くず・切粉	1,856	15.6
有価物等の売却額②	木材、ダンボール、油性廃油	172	0.6

※有価物等の売却額①に誤記があり訂正 2019.8.21 品質保証室